

2016年6月7日
株式会社東陽テクニカ

**Frost & Sullivan 社より
 “2016年 北米カスタマーバリュー・リーダシップ・アワード” を受賞
 ～世界初※ 100GbE フルレートパケットキャプチャ/解析システム「Synesis」～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）の完全子会社である TOYOTech LLC（本社：米国カリフォルニア州フリーモント、CEO：Bo Han、以下 TOYOTech）が、世界的なリサーチおよびコンサルティング会社である Frost & Sullivan 社から、高速イーサネットネットワークのパケットキャプチャ部門において、「2016 North American Award for Customer Value Leadership」を受賞しました。世界で唯一※100GbE（ギガビットイーサネット）でも全てのパケットをキャプチャできる大容量パケットキャプチャ/解析システム「Synesis」の先進性能と、今後増大するネットワークトラフィックに対してパケット解析技術を提供できる点が評価されました。

この賞は毎年、ROI（投資利益率）の改善が明確に見られたビジネスモデルの確立に貢献する製品やサービスを提供した企業に授与されています。候補企業を評価する際に、Frost & Sullivan のアナリストは、2つのマクロレベルのベンチマーク、「顧客への影響」と「ビジネスへの影響」を調査しています。顧客への影響においては、価格・性能、顧客の購買体験、顧客のオーナーシップの経験、顧客サービスの経験とブランドの信頼度・知名度の5つを、ビジネスへの影響においては、財務実績、顧客獲得、業務の効率化、成長の可能性と人的資本、を基準に受賞企業を決定します。

TOYOTech は、「顧客への影響」と「ビジネスへの影響」の両方のベンチマークにおいて、クラス最高と証明されました。

「Synesis は 100GbE という高速のネットワークで、全くパケットロスすることなくパケットをキャプチャし、ディスクへストリームすることができる唯一のソリューションである。」と Frost & Sullivan 社のプログラムマネージャー・Olga Yashkova 氏は述べています。「Synesis のネットワークディスクストリーミング機能により、トレースファイル消失のリスクが最小限となり、加えてこの Synesis のオープンデザインボックスアーキテクチャは、スタンドアロンのパケットキャプチャやアナライザのプラットフォームなどの機能により、システムの比類ない柔軟性を提供している。」



【「Synesis」について】

「Synesis」は、東陽テクニカが自社開発したシステムです。東陽テクニカは、電子計測器の専門商社として、長年にわたり海外の優れた・最先端の製品・サービスを日本のお客様へ提供しており、ネットワークパケットキャプチャならびにパケット解析の分野においては、四半世紀を超える販売・サポート実績を持っています。来る高速伝送に備え、豊富な経験により蓄積したノウハウを生かして、この「Synesis」を自社で開発・製造し、日本のみならず、米国ならびに中国に販売拠点を設立して直販体制を確立し、グローバルに展開しています。東陽テクニカならではの高品質製品を、世界中のお客様のご要望にお応えしながら、高い付加価値とともに提案してまいります。

【「Synesis」の主な特長】

「Synesis」は、ネットワークを流れるパケットをキャプチャし、パケットの中身や統計を表示する LAN アナライザで、高速トラフィックの通信障害解析を目的とした大容量パケットキャプチャ/解析システムです。

✓ ロスしないパケットキャプチャ力

高速な 100G イーサネットのパケットを 100%確保。

✓ 高速なパケット抽出力

ディスク書き込み時にインデックス情報を同時に保存、検索する時間を大幅に短縮。

—蓄積したパケット情報から必要なデータを高速で抽出・解析できます。

✓ マイクロバーストの検出と解析

最少 100μsec で発生したスパイクを自動検出し自動ファイル化。通信障害の原因となるバースト発生の原因解析に貢献。

✓ INDEX を拡張

キャプチャ製品で一般的となっている“時間”条件によるトラフィックデータの抽出条件を、IP アドレスやポート情報にも拡張。抽出時間を大幅に短縮。

✓ 用途に応じた 2 つの筐体

ポータブル型、ラックマウント型。



ラックマウント型



ポータブル型

■ 詳細はこちら ■

「Synesis」サイト：<http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/synesis.html>

今後も東陽テクニカは、「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、通信サービスを提供する通信事業者やサービスプロバイダーおよび通信機器製造業者向けネットワーク解析・監視システムの提供を通じ、通信サービスの高速化と品質の向上に貢献するとともに、グループ全体の企業価値を一層高めてまいります。

※ 100 ギガビット・フルレートパケットキャプチャ装置において。2015 年 5 月 25 日現在。当社調べ。

< Frost & Sarniban について >

Frost & Sarniban は、独自のリサーチに基づいて企業のビジネスを成長に導くグローバルな知見を提供し、ビジネスの新たな成長機会の創出からイノベーションの実現までを支援する、リサーチとコンサルティング機能の両方を兼ね備えた企業のアレックサパートナーです。世界 40 拠点以上のグローバルネットワークを軸に、世界 80 カ国ならびに 300 に及ぶ主要な全てのマーケットを網羅することで、メガトレンドや海外新興市場の台頭、テクノロジーの進化などのグローバルな変化に対応し、企業がグローバルなステージでビジネスを成功させるための 360 度の視点に基づいた知見を提供しています。

Frost & Sarniban Web サイト : <http://www.frostjapan.com/>

< 株式会社東陽テクニカについて >

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、470 名を超える全従業員の 9 割近くを占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト : <http://www.toyo.co.jp/>

< TOYOTech LLC について >

TOYOTech LLC は、2015 年 8 月にアメリカ・カリフォルニア州フリーモントに設立された、株式会社東陽テクニカの完全子会社です。アメリカならびに世界市場（日本・アジアを除く）で、東陽自社開発製品の販売・サポートを行うとともに、アメリカ市場の先端技術を持った会社への投資と買収を通して、東陽テクニカの技術・専門知識を拡げることが、主な活動目標としています。

TOYOTech LLC サイト : <https://toyotechus.com/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250 (直通)

E-mail : synesis-sales@toyo.co.jp

「Synesis」サイト : <http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/synesis.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。